

平成24年10月18日
於
府中市立教育センター

平成24年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成24年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成24年10月18日(木)
午後3時00分
閉 会 平成24年10月18日(木)
午後4時06分
- 2 会議録署名員
委 員 齋 藤 裕 吉
委 員 浅 沼 昭 夫
- 3 出席委員
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
小 椋 孝 町 田 昌 敬
総務課長 澁 谷 智 文化振興課長 酒 井 利 彦
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 文化振興課長補佐 時 田 浩 一
月 岡 敏 浩 ふるさと文化財課長 江 口 桂
学務保健課長 中 村 孝 一 ふるさと文化財課長補佐 谷 本 耕 一
給食担当副主幹 須 恵 正 之 生涯学習スポーツ課長補佐 古 田 実
指導室長補佐 桑 田 浩 生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之
統括指導主事 瀧 島 和 則 図書館長 佐々木 政 彦
指導主事 大 津 嘉 則 図書館長補佐 坪 井 茂 美
指導主事 山 本 勝 敏 美術館副館長 山 村 仁 志
指導主事 鳥 居 夕 子
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第25号議案

府中市生涯学習センターにおける指定管理者の指定について

第26号議案

府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 第2次府中市学校教育プラン（仮称）策定検討協議会委員について
- (2) 「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別公開」の実施について
- (3) 郷土の森博物館開館25周年記念「わくわくスタンプラリー」の実施について
- (4) 「第3期府中市子ども読書活動推進計画」（案）に係るパブリックコメントの実施について
- (5) 企画展「虹の彼方ーこことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」の開催について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後3時00分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成24年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、齋藤委員と浅沼委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日、傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、よろしくお願いいたします。

傍聴の方に申し上げます。本日の第26号議案と報告・連絡1につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、該当する部分の記載を省略させていただいておりますので、ご承知おきください。

_____ ◇ _____

◎第25号議案 府中市生涯学習センターにおける指定管理者の指定について

○委員長（崎山 弘君） それでは議案の審議に入ります。

第25号議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） それでは生涯学習スポーツ課より府中市生涯学習センターにおける指定管理者の指定につきまして、第25号議案に基づきご説明いたします。

恐れ入りますが、議案書の2枚目をごらんください。1の趣旨でございますが、府中市生涯学習センターにおける指定管理者の指定につきまして、地方自治法第244条の2第3項の規定により、公の施設の管理を行わせる者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、平成24年第3回市議会定例会へ提出し、議決されたものでございます。

次に2の指定管理者でございますが、こちらにつきましては、記載の3社から構成される共同事業体でございます。

3の指定管理を行わせる期間でございますが、平成25年4月1日から平成30年3月31日まででございます。

説明は以上となります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（崎山 弘君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。何かご意見ございませんか。

齋藤委員。

○委員（齋藤裕吉君） 1つだけ。3社の共同事業体ということですが、仕事の中身によって、例えばこの社はこういう業務をいうような分担はなされるのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） まず一番上のアの株式会社コンベンションリンクエージが、こちらの代表企業であります。主に共同事業体の統括、または各種講座の企画・運営

を行う分担となっています。次にイの住友不動産エスフォルタ株式会社、こちらは主に体育の部門になります。現在、学習センターにございます温水プール、体育室、あとはトレーニング室、その管理、または体育に関する講座の企画・運営などを行います。最後のウの鹿島建物総合管理株式会社でございますが、こちらが施設全体を管理する、いわゆるビルメンテナンス会社となっておりますので、施設の補修・修繕等も含めた施設管理を行う予定となっております。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問ございませんか。

ないようですので、お諮りいたします。

第25号議案、府中市生涯学習センターにおける指定管理者の指定について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、提案のとおり決定いたします。



◎第26号議案 府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

○委員長(崎山 弘君) 第26号議案、朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いいたします。

○美術館副館長(山村仁志君) それでは、ただいま議題となりました第26号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱につきましてご説明いたします。議案書の2枚目をごらんください。

本選定委員会は、府中市美術館条例第23条第1項第1号の規定に基づき、美術作品等の収集及び評価について審議するため設置され、その委員につきましては、教育委員会が委嘱するものでございます。

本選定委員会委員の委嘱につきましては、学識経験を有する者6人以内で、記載のとおり6人の委員の皆様でございます。なお、選定委員会委員の任期は規定により2年でございます、平成24年11月1日から平成26年10月31日までの期間でございます。なお、5名の方が再任、1名の方が新任でございます。

本選定委員会は、同条例施行規則第16条第1項の規定に基づき、美術館における美術作品等の収集につきまして、館長の諮問に応じて審議し、答申をいただくこととなっております。

以上、選定委員会委員の委嘱に関します説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

私から1件、ちょっとお伺いします。この委員会は年どれぐらいの開催が予定されているのですか。

○美術館副館長(山村仁志君) 年に1回でございます。

○委員長(崎山 弘君) 引き続きですけども、ということは、大体美術館が候補作品などを準備して、それに対してご意見をいただくというような会議になると理解してよろしいでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) 毎年、大体12月ぐらいに、その年のご寄贈のものを取りま

とめまして、学芸員、館長で十分調べてから、選定委員会にかけるということで、大体12月にかけることが多くなりそうです。

○委員長(崎山 弘君) ほかにご質問、ご意見ございませんか。

では、お諮りいたします。第26号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第2次府中市学校教育プラン(仮称)策定検討協議会委員について

○委員長(崎山 弘君) 続いて、報告・連絡に移ります。

報告・連絡(1)について、総務課、お願いいたします。

○総務課長(澁谷 智君) それでは、第2次府中市学校教育プラン(仮称)策定検討協議会委員について、別紙資料1に基づき、ご報告いたします。

府中市の学校教育推進計画であり、また教育基本法第17条第2項に基づく、教育振興基本計画にも位置づけられております。現行の府中市学校教育プラン21は、平成15年度から平成25年度までの11年間の計画となっており、来年度末でその計画期間が終了いたします。

そこで、平成26年度からの第2次学校教育プラン(仮称)を策定するため、策定検討協議会を設置いたしましたので、ご報告するものでございます。

策定検討協議会は、第2次府中市学校教育プラン(仮称)策定検討協議会設置要綱に基づき、小学校及び中学校の校長、小学校または中学校の副校長、保護者の代表、学識経験者、公募市民及び市職員の計12名以内の委員で構成され、任期は平成24年11月から平成25年12月までとなっております。

今後の予定でございますが、11月に第1回策定検討協議会を開催し、今後の検討内容の確認等を行う予定でございます。その後、策定協議会を全10回程度開催するとともに、市職員で構成する作業部会も並行して開催し、具体策の検討も行っております。このスケジュールの中で、本体計画である学校教育プランのほか、事業実施計画も策定してまいりたいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○委員長(崎山 弘君) 報告・連絡(1)について、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(齋藤裕吉君) 事業実施計画も検討していくということですが、そのことも、この協議会委員で検討していくということの意味ですか。

○総務課長(澁谷 智君) 事業実施計画につきましては、市職員のほうで検討してまいりたいと考えてございます。

○委員(齋藤裕吉君) 公募市民の方に入っていただくのは大いに結構だと思いますけれども、公募ということですので、公募して応募してくださった方、これ以上いらっしゃったわけでしょうか。

○総務課長(澁谷 智君) 5名の方から応募をいただいております。そのうち3名を選ばせていただいたところでございます。

○委員(齋藤裕吉君) この第2次のプランというのは何年計画ぐらいを想定しているのか。または想定自体もこの検討委員会のほうで検討するという計画なのか。その辺の見通しをお願いしたいと思います。

○総務課長(澁谷 智君) こちらの学校教育プランにつきましては、市の総合計画とリンクさせていただいているところがございます。総合計画が8年を予定して、今、改定中というところがございますので、教育プランのほうも一応8年で検討したいと考えておりますが、検討協議会の中で、その点については諮っていただくような形になると思います。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) そういう計画のスパンとか中身については、もちろんこれからということだと思いますけれども、前回はほかの機会のときに申し上げたかと思うのですが、今、社会の変化というのでしょうか、展開が非常に早くなっておりますので、8年でもよろしいと思いますけれども、状況の変化をうまく踏まえたような計画展開、実施展開ができるようになるというのを願っております。つまり、8年前につくったものを8年後に実施するような、そんなプランでは今の社会の変化というのは対応し切れない部分が出てくることもあるのかなと思いますので、これはこれからの展望の中身ですけれども、ちょっとついでに申し上げました。

○委員長(崎山 弘君) ご意見ということで。

○委員(齋藤裕吉君) そうです。

○委員長(崎山 弘君) ほかにどなたかご質問、ご意見ございますか。

では、私のほうから2件。まず小学校、中学校、それぞれ校長先生が選ばれているわけですが、小学校、中学校の校長先生方、先生方の互選という形で選ばれたのでしょうか。

○総務課長(澁谷 智君) 小学校長会、また中学校長会から選んでいただいたものでございます。

○委員長(崎山 弘君) もう1点は、先ほどの齋藤委員と似かよったところがあるのですが、現行の教育プランも第1期、第2期と2年か3年くらいずつですか、分けてやりましたけれども、今回も、まだこれは想定段階だと思いますけれども、やはり臨機応変に対応するというのを考えると、やっぱり2年とか3年とかで期を分けると想定されると思うのですが、それについていかがでしょうか。

○総務課長(澁谷 智君) 総合計画のほうは4年ごとに分けて計画する予定ということでございますので、そのあたりも鑑みながら今後、検討していきたいと考えてございます。

○委員長(崎山 弘君) 承知いたしました。

ほかにこの報告・連絡(1)について、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、この(1)第2次府中市学校教育プラン(仮称)策定検討協議会委員について了承いたします。



◎「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別公開」の実施について

◎郷土の森博物館開館25周年記念「わくわくスタンプラリー」の実施について

○委員長(崎山 弘君) 報告・連絡(2)、(3)について一括して、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（谷本耕一君） それでは、ふるさと文化財課からまとめて2点ご報告いたします。

まず初めに、(2) 市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別公開の実施につきまして、お手元の資料2に基づき、ご報告いたします。

旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕は、今から約70年前、太平洋戦争の末期につくられた、戦闘機用の防空壕で、市では昨年度、掩体壕の保存整備を行い、今年の3月より一般公開を行っております。このたび、東京文化財ウィーク2012の開催に伴い、通常時は公開していない壕の内部を特別公開いたします。日時は11月3日（土・祝）の午前10時から午後4時までで、場所は白糸台二丁目17番地付近で、駐車場はございません。なお、当日は公開時間内で随時ご見学いただけるほか、解説委員による解説も随時行っております。ぜひともご見学くださいませよう、お願いいたします。

続きまして(3) 郷土の森博物館開館25周年記念「わくわくスタンプラリー」の実施につきましては、お手元の資料3に基づき、ご報告いたします。

10月から11月にかけて実施しております、武蔵府中ふるさとまつり2012の一環として、また府中市郷土の森博物館開館25周年記念といたしまして、わくわくスタンプラリーを実施いたします。内容は博物館本館や園内、復元建築物の各ポイントでクイズなどに答えてスタンプを集めるものでございます。普段素通りしてしまう施設や、あらためて見ることのない展示物を見ることで、博物館の楽しみ方を再発見していただきたいと思い、実施するものでございます。日時は11月3日（土・祝）の午前10時から午後3時まで、会場は府中市郷土の森博物館全館でございます。対象は小学生で親子での参加も可能です。参加費は無料で、参加賞等をご用意しております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。今の報告2点につきまして、まず1点目、白糸台掩体壕に関して、何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（松本良幸君） 松本でございます。両方についてなのですが、PRの方法としてこのようにチラシをつくっていらっしゃると思うのですが、これを例えば学校に配るとか、文化センターに配るとか、どのような計画でいらっしゃいますでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐（谷本耕一君） まず、今度10月21日号の広報のほうで、こちらの記事は掲載させていただきます。また、チラシにつきましては、各公共施設、文化センター等に配付をお願いいたしまして、皆さんのほうに周知をお願いしております。学校には配付の予定は今のところないということになります。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかにご意見などございませんか。

私から1件、(2)のほうなのですが、祝日に実施される場合、このチラシの問い合わせの電話番号へ、ふるさと文化財課の電話番号が書いてありますけれども、当日電話するとつながるのですか。

○ふるさと文化財課長補佐（谷本耕一君） 当日は祝日でございますが、ふるさと歴史館には職員が出勤しておりますので、電話はつながります。

○委員長（崎山 弘君） では、(3)について、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

わくわくスタンプラリーです。

○委員(齋藤裕吉君) 「郷土の森博物館の住民票をとろう」という、これ、ちょっとおもしろい仕掛けだと思うのですが、教えてください。

○委員長(崎山 弘君) チラシにあるこの文章の説明ですね。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) こちらは、博物館に復元建築物で、旧府中町役場という建物がございまして、その旧の府中町役場、昔の役所で住民票をとということで、昔の住民票を再現して、旧府中町役場の建物で配るというところに博物館の意義があるということで、そのイベントでございまして。

以上でございまして。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かございましてでしょうか。

では、報告・連絡(2)、(3)について了承いたします。



◎「第3期府中市子ども読書活動推進計画」(案)

に係るパブリックコメントの実施について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(4)について、図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐(坪井茂美君) 図書館より資料4に基づき、第3期府中市子ども読書活動推進計画(案)に係るパブリックコメントの実施についてご報告いたします。

府中市では平成15年度に、府中市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んでまいりました。この計画は5年間の計画としており、第2期が今年度で終了となるため、現在、第3期の計画を検討しているところです。策定に当たりまして、市内の子どもに関係します部課、総務課、指導室の担当の方にも参加していただいておりますが、10の部課で構成されております。府中市子ども読書活動推進連絡会で検討し、提案されました原案を、11月1日から市民の皆様にお知らせをし、ご意見をいただくものです。

取り組み内容につきましては、お配りいたしました資料をごらんください。

第2期から変わったところといたしましては、第2期の成果及び第3期の計画につきまして、さらに具体的な実施内容を挙げたところがございます。また、今後資料としてつける部分に、新町小学校全学年で行いましたアンケートや、連絡会主催のおはなしキャラバンなどの事業結果も載せていく予定になっております。この取り組みは図書館だけではなく、子どものいる全ての場所、環境での読書活動の推進を図るものであり、府中市としての計画にしております。

周知については、『広報ふちゅう』を初め、市のホームページ、市政情報センターのお知らせ、各図書館及び図書館ホームページなどでごらんいただけるよう実施していきます。

今後の予定といたしましては、お寄せいただきましたご意見を、さらに連絡会で検討を重ね、教育委員会、市議会の協議を経まして、平成25年3月に向け計画の決定、4月に市民の方への周知を予定しております。

以上でございまして。

○委員長(崎山 弘君) 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

私から1件。今、お配りいただいた第3期の計画案の5ページなのですが、ここに情報社会における読書という項が、(5)があります。今、小児科医の中でも非常に問題になって

いるのは、子どもとメディアのかかわりなのです。最近、育児の中でも、やはりお母さん方が携帯あるいはパソコンに熱中してしまう。そういう人たちが育児の中で子どもと目と目を合わせるようなかかわりができない、絵本を読み聞かすのができないというのが、最近、小児科の中で非常に問題になっています。

ここで「情報の」というところから出てくるのですけれども、今、この文章だけ読むと、誤った情報の収集、あるいは情報の解釈など、そういう点に視点を置かれていることが書かれてはいるのですけれども、ぜひとも、今、子どもたちが置かれている環境がメディアづけにかなり近くなっている。それをどうすれば子どもたちを本に引き込むことができるかというような発想をできれば持っていただければよいかなと思います。

この計画、多分、これ第3期ですけれども、以前はお母さん方がスマホを持っている時代ではないわけなので、今どき皆さん持っています。だから、この情報をとるのも多分スマホでとる人はいっぱいいると思います。でも、それがやはり本当は問題があるのではないかということ、ぜひとも視点に入れていただかないと、これからこういうことをやっても、結局インターネットの情報に依存してしまう人はなかなか本に向いてくれないのですね。どうやってそれを攻めていこうかというのを、小児科医も考えているのですけれども、ぜひとも行政のほうも連携して一緒にやっていただけるとありがたいかなと感じております。

○図書館長補佐（坪井茂美君） 小学校、中学校でのパソコンでの学習もございますし、確かにパソコン、インターネットからの情報によって、さらにいろいろな情報を得られるという利点もございますので、それを生かしながら、しかし、子どもの読書、学校での朝の読書であるとか、それから私どもで作成しておりますリストなどを活用しながら、また学校からご要望があった場合にブックトークであるとか、子どもさん、図書委員の皆様が読み聞かせをするための、読み聞かせの仕方の指導であるとか、そういうものでも図書館のほうでどんどん出向いて指導していきたいと思っておりますので、ご意見はいただいて、また盛り込んでいきたいと思っております。

○委員長（崎山 弘君） よろしく申し上げます。実際、(5)のところは小学校、中学校に関する記載になっておりまして、この読書に関する計画案は全体的には市民ですから、乳児とかも含めることだと思っておりますけれども、そのあたりのことが、「子育ての中の」というところのあたり、例えば(2)のあたりの中で、ネット社会の中でどう扱うかということ、ぜひ考えていただけるとありがたいと思います。

ほかに何かご意見、ご質問はございますか。

○委員（齋藤裕吉君） パブリックコメントの実施ということですので、それはそれとして大変大事なことだと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

少しだけそれるかもしれませんが、この中身ですよね。公共図書館の役割と学校図書館の役割、それぞれ非常に大きな役割があると思ひますけれども、こういう情報化社会の中で、ネットワークというのでしょうか、これをしっかりつくっていくということもまた大事なと思ひますけれども。それで、4～5年ぐらい前ですかね、学校図書室、学校図書館の登録用のバーコードを張りつける、そういう作業をやったことがあったように思ひますけれども、その後それが、例えば今言ったような学校の中の図書整理、あるいはほかのところのネットワークをつくるような活用とか、そういった方向に動くということはなかったように思ひ

のですが、そのあたり、何か事情がわかるようでしたら、教えていただきたいと思うのですが。

○委員長(崎山 弘君) 質問が漠然としているところがあるので、ご理解できるかどうかと。

○委員(齋藤裕吉君) ちょっと理解しにくいですか。簡単に言うと、学校にある図書館の本に、バーコードをペタペタ張っていくような作業をして、それを記録媒体に乗っけるような作業をやってくれたことがあったのですよ。それが、その後どう使われているのかなというのが見えなかったものですから、わかれば教えていただきたいということです。

○図書館長補佐(坪井茂美君) そちらにつきましては、緊急雇用対策を活用いたしまして、3カ年にわたり各小・中学校にバーコードを張ってまいりました。昨年度で全て張ることは終了してございます。その後の話ではございますが、教育部と検討いたしまして、これをいかに活用するかというのは、申しわけございませんが、今後の活用については検討してまいる予定となっております。

以上でございます。

○教育部副参事兼指導室長(小椋 孝君) 緊急雇用対策を今、お話があったとおり活用して、張っていただくのはやっていただいたところですが、それを活用してネットワークを活用したりということ、モデル事業ということ、指導室のほうで予算要求等をお願いしているところでございますが、厳しい財政状況を踏まえまして、ここ何年かはそれが、私が来て2年間は予算要求が通っていない状況でございます。1校当たりの予算がかなりかかるもので、33校分にすると非常にかかるという事情がございます、厳しいところでございます。ちょっと方針を転換しまして、ネットワークで組むのは無理だけれども、その張っていただいたバーコードを使って、校内でそのシステムとして貸し出しの状況とか傾向をつかんでやると。それですとそのソフトとバーコードリーダーのお金だけで済みますので、本来はネットワークを組めると、オンラインでできるといいのですが、そこまでのことでなくて、まず張っていただいたバーコード処理で、学校でそれを活用できる方法が今、できないかということで、都の言語能力の活用推進校等の授業等も利用できないかというところで、今、検討しているところでございます。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) パブリックコメントということとはまた違う話になってしまって申しわけないと思うのですが、この中身について、この機会にと申して発言させていただきました。ぜひ部分部分でいろいろな工夫をしたり、取り組みをしたりという、そういうことがこれまでいろいろ集積されてきていると思いますので、そういったものを上手に組み合わせ活用していくということが求められているかなと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長(崎山 弘君) ほかにご意見、ご質問ございますでしょうか。

それでは、報告・連絡(4)について了承いたします。



○企画展「虹の彼方—こことどこかをつなぐ、
アーティストたちとの遊飛行」の開催について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(5)について、美術館、お願ひいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは、美術館よりお手元のチラシ、別紙資料5によりまして、次回の企画展についてご報告いたします。

「虹の彼方」という展覧会ですが、まだチラシは校正中ですのでモノクロコピーで失礼いたします。チラシをお開きください。

11月23日（金）から翌平成25年2月24日（日）まで、企画展「虹の彼方—こことどこかをつなぐ、アーティストたちとの遊飛行」を開催いたします。20世紀の美術史には、「芸術」と「日常」との接点を探る動向が常にありました。1960年代の「前衛芸術」、いわゆるアバンギャルドの中で、例えば「フルクサス」と呼ばれるグループは、芸術の既成概念を破壊して、美術、芸術を日常化することを目指してきました。その後も、美術と美術館の制度やシステムをはみ出ようとする芸術が多く生まれてきました。

21世紀を迎えまして、美術家たちはもっと自然に人々の日常とかかわるデザインや写真、そしてゲームや音楽、雑誌の編集といった領域に積極的に向かっていくようになってきました。彼らはまるで「虹」のように、日常の中にさりげない美を見出し、てらいのない制作方法で、見る人たちをその先の想像世界、イメージーションの世界に誘っているかのようです。

今展では、デザイナーを含め、ジャンルを超えて自在に制作する美術家たち10人（10組）が参加します。約半数が多摩地域ゆかりの若手作家であり、日本の現代美術の最先端の作家たちです。

関連企画としましては、未就学児連れのお母さんたちのために「キッズアワー」や「ベビーカーツアー」を実施するほか、中央図書館と連携して出品作家に依頼しまして、中央図書館で出張展示を行っていただき、また作家の選書、本を選んでいただいて構成した作家コーナーを設置いたします。そのほか、出品作家のアーティストトーク、学芸員のガイドツアー、出品作家によるワークショップなど、盛りだくさんの展覧会となっております。

なお、2013年1月14日までの前期と、その後1月16日からの後期で、出品作品の多くを大きく入れ替えるため、前期チケットの半券の提示によって、後期の観覧料を半額にする特典も実施いたします。

現代の若手作家が日常を捉えるまったく新しい自由な見方と発想を、ぜひ児童・生徒の皆さんにも体験していただきたいと思っております。

チラシ、ポスターができ上がりましたら、先ほどの文化センター、市の施設、広報ふちゅうはもちろんですが、各小・中学校にも配付いたします。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（村越ひろみ君） 村越と申します。よろしく申し上げます。

勉強不足かもしれないのですが、小・中学校のほうにもこの案内が行くということなのですが、例えばこの日は何年生とか、どこの学校がとか、それを順番に全学校に見せていくようなイベント的なことはやっているのでしょうか。

○美術館副館長（山村仁志君） 年間を通じまして、美術鑑賞教室を実施しておりまして、年間5回企画展をやるのですが、前年度3月、4月に各学校に照会をかけまして、各小学校のほうで、この展覧会をぜひ見せたいというのを担任の先生に選んでいただきまして、それで年間を22校の中で分けて美術鑑賞教室を実施しております。

この展覧会会期中にも、今、資料がありませんけれども、3～4校が確か入っていたと思いますので、図工の先生、担任の先生、学年の先生で来ていただいて、美術館の学芸員と一緒に説明しながら見ていただく予定でございます。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) ほかにご質問、ご意見ございますか。

では、私から1件。ちょうど去年の今ごろもこの時期、やっぱり芸術と日常のはざまというか、マンガとキッチュの世界というのをやっていました。同じような視点だなと思うので、同じ学芸員の方が担当なのですかね。ここの分野が得意なのかなという気がちょっとしたのですけれども、いかがでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) 年間を通じまして、春は江戸の展覧会、夏休みは子ども向けの展覧会、秋は海外展、冬は若手作家の育成という意味で、多摩地域の現代作家を取り上げているのですが、この展覧会と昨年の石子順造的世界の担当学芸員は違います。現代の作家を担当できる学芸員が2～3人おられますので、交代でやっております。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、報告・連絡(5)について了承いたします。



◎その他

○委員長(崎山 弘君) では、その他についてですが、何かございますでしょうか。

○給食担当副主幹(須恵正之君) 学務保健課から寄附についてご報告させていただきます。資料はございません。

国際ソロプチミスト東京府中から府中市に車の寄附がございました。用途といたしまして、食育推進車ということで、食育の推進に使用してほしいとのご寄附をいただきましたので、学校給食センターのほうで使用させていただきます。

昨日、市長に目録の贈呈がございましたので、感謝状につきましては市長名での贈呈を準備しているところでございます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ありがとうございます。ありがたいことですね。

その他、ほかに何かございますでしょうか。

では、ないようですので、教育員報告に移ります。



◎教育委員報告

○委員(齋藤裕吉君) では、齋藤のほうから報告をさせていただきます。

前回の教育委員会以降ですけれども、9月16日、第55回の府中市民体育大会秋季大会の開会式に出席をさせていただきました。皆さん本当に元気いっぱいの入場行進で、さわやかな印象を受けました。グラウンドの中だけではなくて、その前の段階で開会式前にケヤキ並木からのパレードをやって、例年やってくれているわけですが、第一小学校のわかば鼓笛隊、とても立派な演奏と行進を見せてくれておりました。

それから、次に9月29日(土)ですけれども、運動会の視察をさせていただきました。非常にすばらしい天気というか、日差しが強い、強過ぎるぐらい強い、大変暑い休みの日でした

けれども、最初に府中第五小学校の開会式から少しの間、参観をいたしました。芝生の上で裸足で開会式ということですね。気持ちよさそうで結構でした。その後、住吉小学校に参りました。住吉小学校は土の校庭での運動会でした。ちょうど第八中学校のほうで、簡易型の防災用テントというのを購入したということで、これが子ども用の座席のところを全部張り切れるのですね。非常に日差しの強い日だったのですけれども、子どもたちがちょうどそのテントの中に全員が入れるような形になっておりまして、これはいいなということで、校長先生と一緒にたびたび使わせてもらおうという話をしておりました。子どもたち、演技は非常に熱心にやっておりました。

午後からは府中第八小学校の運動会を視察いたしました。第八小学校の場合も芝生の上で、組体操などを見ましたけれども、組体操はちょうどよい感じですね。裸足で膝を着いたり何かしても膝が痛くならない、とてもよい感じでした。

そしてまた、鼓笛隊の演奏というのは午後の最初のところであったのですが、これを見まして、第八小、これは前から第八小さん、そういう面でも頑張っているわけですが、どこからで、また学校内だけではなくて、例えば第一小学校のような発表の場を持てるとういこと、校長先生にお話をいたしました。校長としては乗り気でした。何か機会があったらなと思っております。

それから、10月13日(土)、この日も快晴でございましたけれども、みどり幼稚園の運動会を視察いたしました。開会式から参観いたしました。子どもたちはみんなニコニコして本当にうれしそうでした。保護者の皆さん方も、特に父親はこういう機会が少ないのかなと思えますけれども、とてもうれしそうで、楽しそうで、親子競技など非常に楽しくやっておりました。

次に、10月14日(日)ですが、この日は府中の森の文化まつりと、JAZZ in FUCHU、これを参観いたしました。午前11時からグリーンプラザホールで、府中第四小学校のハーモニーブリーズのジャズ演奏を聞きました。40名ほどの子どもたちが大人顔負けのジャズの演奏ということで、すばらしいなと改めて感激をいたしました。

こういった動き、どの学校でも音楽活動を盛んに府中の場合やってくれていると思いますけれども、こういうジャンルの音楽活動もなかなかいいと思いました。

私も自分のことで恐縮ですが、府中第五小学校の在任中に、西府駅の開設記念式典、あのときに府中五小の金管バンド、演奏の機会をいただいたのです。その計画が入ったところでぜひジャズをやろうということで、「A列車で行こう」、これをやってみようよということで、A列車の列車というのはトレインですね。”Take the ‘A’ Train”というようなことで注文をつけて、では、やりましょうということで、子どもたちも乗ってくれて、そういう演奏したことなどを思い出しました。

この日の午後からは府中の森の文化まつりということで、美術館を中心に参観をいたしました。美術館はこの日、無料で入館できるということもあってなのか、非常ににぎわっておりました。また、これまで作成した美術展のポスターの無料配付をされたのです。とても人気があったようです。それから、墨流し、その他の制作コーナーなども設けてくださっていて、親子で楽しむ姿が見られました。そしてまた、今年初めてかと思うのですが、美術館の前の庭で、やっぱりJAZZ in FUCHUのコンボ演奏、小規模演奏ですね。尺八とギターとベースのコンボ演奏というおもしろい取り合わせの演奏を行っていて、非常ににぎやかでした。

ということで、話はまたJAZZ in FUCHUに戻るのですけれども、100以上の演奏グループが今回参加しているということでした。くらやみ祭に追いつけ追い越せとやっているのだそうですけれども、府中の新しい文化イベントということになってきているなと思ひまして、感心してまいりました。

以上です。

○委員（松本良幸君） 10月1日より教育委員に任命されました松本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員としての仕事としてはまだ実績はございませんが、10月12日に市役所8階にて、教育委員会の組織のレクチャーを受けて勉強しているところでございます。全て覚えるということはまだなかなかできませんけれども、頑張って皆さんと一緒に活動ができるように勉強していきたいと思っております。

自己紹介をさせていただきたいと思ひます。私、府中市西府町に52年間住んでおります。ずっと住んでおります関係で、地域では消防団、またPTA、青少対、今は消防少年団の副団長もやらせていただいております。あと例に漏れずお祭り会等の活動をしておるところでございます。特にPTA活動につきましては、現在、私が兼業農家でございますので、稲作指導等を府中市では本宿小学校、府中第五小学校、住吉小学校、あと国立の小学校にも指導させていただいております。ちょうど昨日は本宿小学校の脱穀の指導、1時間目から4時間目まで、クラスごとに4セット、指導してきたところでございます。

私も先生ではございませんけれども、そういった自分の得意分野で子どもたちとかかわれることをとてもうれしく思っておりますので、これからもその部分に関しましては活動を続けていきたいと思っております。

委員会の活動につきましては、何分知識不足でございますので、ちょっと的外れな質問をしてしまうようなこともあるかと思ひますけれども、普通の一市民として、また1人の親として一般的なごく普通の人間ですので、その感覚をこの場で出すということも、私がやるべき仕事であるかなとも思っておりますので、どうかその辺のところは温かい目でご指導いただければと思っております。私も一生懸命努力して、仕事ができるように頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員（村越ひろみ君） このたび委員を務めさせていただくことになりました村越と申します。私も府中生まれの府中育ちで、府中から出たことがない人間でございます。

1つだけ、委員として活動したことがありまして、先週土曜日に小柳幼稚園へ視察に行つてまいりました。運動会です。私も幼稚園の教諭をやっていたことがありまして、とても懐かしくて、子どもたちがすごくかわいいなと思ひました。また、年長さんたちが役割分担で、運動会の中の仕事をお手伝いしているという姿を見て、年長さんでもこんなにできるのだなというのをちょっと実感したり、でも、これ1年生に上がるとまた赤ちゃん返りになってしまうのかな、もったいないなみたいなのところもあったのですが、でも、年長さんはすごくしっかりやっついて、本当に驚きました。

私も自己紹介をさせていただきたいと思ひます。私、子どもが3人いまして、孫も先日2人目が生まれました。そんな状況で、3人の子どもを育ててきたのですが、長いこと、17年間ぐらいPTA活動にかかわってきました。小・中・高とPTA会長も経験させていただいたり、平成14年からは7年間ぐらいですか、P連のほうにも仕事にかかわらせていただきました。

また、そのうちの2年間、P連会長もさせていただいて、そのときには本当に教育委員会の皆様には大変お世話になりました。でも、そのP連にかかわったことで、すごく府中市の教育とか、行政のこととかがそれまで以上にいろいろわかったかな、少しでも知ることができたかなと思っています。私がこの場にいるのは、きっと小・中・高とPTA活動にかかわってきたことで、声をかけていただいたのかもしれないなと思っています。でも、受けたものの、松本委員も言っていましたけれども、専門知識もないし、まだいろいろ勉強不足だし、本当にこんな素人の私でいいのかなとすごく不安でした。でも、素人で、一主婦で、私のようなものが委員となることで、教育委員会というものがいろいろな方に身近に感じてもらえたりしたらいいのかな、それが私の役目かなみたいにも思っています。また、委員としてどこまでどうかかわっていいのか本当に未知ではあって、わからないことがたくさんあるのですけれども、ふと思うことは、一母親でもあるわけですから、少しでも保護者の皆さんと接する機会があったりして、学校教育のあり方とか、学校教育の方針を理解してもらおうとか、家庭教育の大切さを伝えられたり、また親同士とか先生方とのかかわり方を円滑にするために、何かができたらいいのかな。そしたらいじめとか、不登校とか、今、学校現場で起きていることを少しでも助けることができるのかもしれないと思っています。

テレビ等を見ていると、教育委員は名誉職だとかお飾りだと言われているところもあるかなと思うのですけれども、本当にそうならないように、浅沼教育長を中心とする事務局の皆さんと崎山委員長、そして齋藤職務代理人、また同期である松本委員とともに、府中の子どもたちのために、健やかなる成長のために、一緒に、本当にもともに働かせていただけたらと思います。

先日、各課の皆さんからレクチャーも受けて、さまざまな検討課題があることも知りました。ぜひ私も府中の教育を支える1人として、本当に力不足ではあるのですけれども、私なりでしかできないのですが、一生懸命に努めさせていただきたいと思っておりますので、温かく見守っていただいて、また、いろいろ教えていただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○委員（浅沼昭夫君） それでは、浅沼が報告します。

私にとって最初の教育委員会定例会ということでございますので、改めて教育長就任に当たって、抱負を申し上げたいと思います。

まず、教育委員の皆様方から英知を頂戴して、そして教育委員会事務局と一体となって力を合わせて努力してまいりたい、そういう思いを持っております。そうしまして、さらに学校教育の充実のために、各幼稚園、各小・中学校との連携を強め、府中市民の期待にこたえていきたい、そういう思いを強く持っています。どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、報告いたしますが、教育委員の方も新任の方もいらっしゃいますし、私自身が全く新しい仕事ということですので、感想も含めまして、ちょっと細くなるかもしれませんが、お時間を頂戴してご報告したいと思います。

まず、10月4日の午後なのですけれども、教育部の施設を視察いたしました。最初に第四中学校の耐震工事です。説明してもらいまして、校長先生、それから工事の責任者から詳しく案内してもらいました。

その中で、耐震工事というと採光が悪くなるのではないかと、私自身は印象を持っていたのですけれども、鉄骨ブレースと称しているのだそうですけれども、そういったものの補強で、従来の工法に比べて随分教室の明るさが確保されているなど、そういう印象を受けましたし、

それから特許を取得された最新の工法で工事をやっているのだということで、事務局がよく努力されているなという印象を受けました。

それから、工事を契機に一齐暖房から、各部屋のほとんどを暖房にするという、環境にも優しい工夫もされているという説明を受けました。その後、陸上競技場に赴きまして、小学校の連合陸上が行われていましたけれども、これは全く時間の関係で顔を出すということだけで、申しわけなかったなと思っています。

次に学校給食センターに伺いました。このセンターでは、やはり構造体に加えて施設設備の老朽化が進んでいると、衛生管理上も改善をしなければいけないという点があるということで、私もなるほどなということで、建てかえ等の必要性を感じました。

それから、先ほどご報告がありました国際ソロプチミスト東京府中の皆様方から寄贈していただいた、食育推進車にも試乗してまいりました。

続いて、第八小学校の校庭の芝生でございます。芝生化によって転んだときのけがは少なくなりましたが、ちょっと捻挫という、けがの種類が変わってきたのかなという、そういう説明を受けましたし、副校長先生からはこの維持管理について、これからさらに工夫していく必要があるということで、お互いに知恵を出し合いながらというお話をしてまいりました。

それから学校給食センターの建設予定地に参りました。市の東のほうに位置するというところで、西の小学校はどうかと思いましたが、もう既に給食の配達時間帯に車を出して、これはまず問題ないという、そういったデータを集めているというところで、大変安心いたしました。横にある朝日サッカー場も見えてまいりました。

それから、第十小学校です。建てかえ中でありまして、12月には完成するということですが、これも工事に伴いまして校庭が大変狭くて、不便をかけているなど。けれども、やはり体育館が使えることになるということで、順調に工事が進んでくれればいいかなと思いましたが、事務局のほうでは、校庭の代替地を探すというような努力もしたようなのですが、適当な場所がなかったという説明を受けています。

続いて第五中学校です。すばらしい校舎が8月に完成したということで、中身を見せてもらいましたが、ソーラー発電、雨水の利用、それから照明の自動点火など、環境負荷の軽減に配慮された施設で、今後、大いに教育効果が期待されるかなと思いましたが、中でも教室の広さが、今までの教室と比べて広いです。非常にゆったりとしたスペースを確保しているということで、これも子どもたちがゆったりと生活できるのではないかなと感じました。今後、五中、それから五中の施設等々の状況を踏まえながら、また新しい校舎を建てるときに、そのノウハウが生かされていくのかなと思って楽しみにしております。

以上、工事のための下準備、あるいは児童・生徒の安全確保、そしてまた近隣の方々への配慮など、各学校の校長先生、教職員の方に感謝したいなと思っています。加えまして、限られた予算、それから厳しい条件の中で、児童・生徒の環境整備に最大限力を尽くしてこられた事務局の今までの努力にも感謝申し上げたいなと思っています。

続けたいと思います。10月7日、ふるさとまつりに参加しました。残念ながら雨のために開会式と府中小唄民踊流しは中止となりましたけれども、イベントの3点、それから発掘お宝展を見学しました。展示会場では、市の担当の方が市民に丁寧に解説をしておりまして、熱心に市民の方が質問をしているという情景がありました。そのときに、私が最も興味を持ったの

は、武蔵台遺跡で発掘された縄文時代中期の釣手土器と申すのでしょうか、それが大変印象的でした。浅鉢に3つのアーチ状の釣手があると聞いて、大きな豚鼻、丸い耳、空洞のところ丸い目と口があって、その造形が極めて印象的でした。その顔はコウモリなのか豚なのか、それともほかのものなのかなどというアンケートも用意されて、意見や感想を求める取り組みもよかったなと思っています。

そして、私が感じたのは、縄文時代に既にこうしたユニークな土器がつくられていたというのは大変驚きでありまして、社会科の副読本等を通して、子どもたちに学んでほしいな、ふるさと府中の誇りはもちろんですが、子どもたちのアイデンティティが明確になるだろうなと思いました。あわせて、小・中学校の社会科あるいは美術の先生に、ぜひ実物を見ていただきたいなと感想を持ちました。

続いて10月14日、第3回武蔵府中熊野神社古墳まつりに参加しました。保存会の方々が地元の各種団体の方々と協力をして、古墳をイメージしたお祭りを開催するものでした。古墳をイメージした古代衣装の古墳パレードや、古墳保存会キャラクターの塗り絵など大変にぎわっておりました。前夜祭には古墳コンサートなど多彩な内容で実施されたということを知っています。

このように、地域の方々が大変貴重な古墳に関心を深め、今後も大切に保存して守り続けていくのだという、そういう機運を高める上で、そしてまた子どもたちが地域を誇りに思い、これまたアイデンティティを育んでいく上で大変有意義なイベントであると感じました。

その後、同日なのですけれども、教育センターに移動して、東京都退職校長会府中支部の教育懇談会に出席をいたしました。内容は例年どおりで、府中市における教育の現況等についてということでお話をしました。私自身が就任間もないということでもありまして、瀧島統括指導主事に随行をお願いして、行ってまいりました。その後、その内容について質問とかご意見をいただいて、加えて昨今の学校教育について、幅広くご感想やご提言をいただきました。今後の参考にしてまいりたいなと思っています。

最後です。10月17日、11時から国際ソロプチミスト東京府中の認証20周年記念式典及び祝賀会に出席いたしました。先ほどご報告がありました食育推進車の記念寄附の目録を、会長より高野市長がいただきました。今後、この車で、学校給食センターが食育を推進する際に、機動性が発揮されるでしょうし、望ましい食生活を通して、体力向上や健康づくりの重要性というものを、幼児、児童、生徒だけではなくて、保護者や地域に啓発していく象徴になるのではないかと、宣伝効果をもたらしてくれるのではないかなと感じました。

少し長くなりましたが、以上であります。

○委員長（崎山 弘君） では、続きまして崎山より、新任の皆様のお話を伺って、初心に返って真摯な気持ちで報告させていただきます。

9月16日に、第55回府中市民体育大会秋季大会開会式に出席いたしました。各小・中学校の校長先生方も参列され、子どもたちも大勢参加しておりました。

10月1日、武蔵府中ふるさとまつりの一環として、フォーリスで開催されていた「発掘お宝展」を拝見してまいりました。これは府中市内での発掘調査等の展示ですが、同じものを郷土の森博物館で見るとは、ちょっと趣が異なることが面白いと感じました。博物館の中は、文化財を保護する目的で照明は暗くなっています。これは当然のことではありますが、発掘調

査そのもののイメージも一部の興味ある人がやっている、申しわけないけれどもちょっと暗いという印象でしたが、しかし、同じ土器のかけらを見るにしても、フォーリスの明るい空間でショウウィンドウの中に飾られているようにディスプレイされているものを見ると、これは市民のお宝だという雰囲気が出るように見えました。博物館まで行かなくても、気楽に買い物客が立ち寄れる空間での展示というものも、広く市民に知ってもらえるという点で、とても有意義だと感じました。

13日(土)、矢崎幼稚園の運動会に行っていました。幼稚園の運動会は小学校や中学校とは異なり、子どもたちは準備のお手伝いの実行部隊としては、多くの活躍はできません。かけっこのゴールでテープを持つ係をすること程度しかできません。つまり、保護者の方々のお手伝いがなければ運営はできません。また、矢崎幼稚園の運動会は、幼稚園に隣接している矢崎町防災公園で行われているので、地域の方々の協力も必要です。幸い天候にも恵まれ、園児、保護者、地域の方々も一体となったすばらしい運動会でした。

同じく13日の17時から、第3回武蔵府中熊野神社古墳まつりに参加いたしました。松本委員と一緒に箏箏(ひちりき)、竜笛(りゅうてき)、笙(しょう)の本格的な雅楽の演奏、時代語りと篠笛、ジャズコンサートを聞きながら、楽しい前夜祭を過ごしてまいりました。

以上です。

それでは、これをおもちまして、平成24年第10回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。どうもお疲れさまでした。



午後4時06分閉会